No. 97. (Vol. IX) THE HEAVENS April 1929

昭 和

兀

年

四

月

號

九 + 七 號 **第** 九



建學博士 山本一清 理學士 竹田新一郎 理學士 能 田 忠

演壇上の新城博士(口繪)

京都大學のスマトラ日蝕遠征計畫

理學博士 山 本 一 清

月蝕の頻 度 17

> 隈 健 彦 松 理學士

循 環 H 月 蝕 0

理學博士 山 本 一 清

天 界 (第九卷) 第九十七號 昭和四年四月號

目 次

新城總長221
京都大學のスマトラ日蝕遠征計畫理學博士 山本一清224
日月蝕の頻度について理學士 松 隈 健 彦231
日月蝕の循環について山 本 一 清240
水星への門出241
ス全 、
• •
明治廿年の皆旣日蝕を觀て横地石太郎246
鹿島丸にて理學士荒 木 俊 馬248
四月の天象252
天 文觀測部月報
○流星課觀測報告 ○變光星觀測報告・・・・・・・・・・・・256
ウイルソン山の星覗き
太陽觀測の新出版物發刊さる中 村 要283
例會記事(一月例會)
Contents of THE HEAVENS No. 97
Editors: I. Yamamoto; S. Takeda, T. Nôda
New President Shinjo
T. Matsukuma, On the Frequency of Solar & Lunar Eclipses 231 I. Yamamoto, On the Cycles of Solar & Lunar Eclipses 240
Visiting the Mars? Aurora seen in Manchuria
I. Yokochi, Tatal Echipse of 24 in Mycareiji
I. Yokochi, Tatal Echipse of 24 in Mycareiji T. Araki, On board the Kashima-maru Heavens of April 252
Monthly Reports from the Observing Section
T. History Visit to Mt. Wilson
Heavens of April 254

Published by The Society of Astronomical Friends, Kyoto University Observatory, Japan.

壇上の新城博士



これは今から八年前、大正九年九月二十五日、我が天文同好會の創立發會式に、『天文學の便命』 と題して講演せられつゝある新城博士である。 場所は京都帝國 大學集會所樓上 (標用氏撮影)

天 文 好 會 同

大正九年(1920年)創立。

清(京都市東一條)[電話上5098] Ш 本 長

上 田 穰(外國旅行中) 副 長

田新一郎(同 聖護院東町25) 竹 要(京都大學天文臺)

中 村 政 晴(京都市吉田近衞町13) 池 田

會 計 京都帝國大學理學部 天 文 臺[電話上980/222] 部 本

岡山縣倉敷市[電話35]---原名譽臺長[電話75] 倉敷天文臺

> 部... - 支

京都市同志社大學內(電話上430) 飯 義 支 部 志 社 府立師範附屬小學校[ク 西陣66] # 井 郎 都市學校支部 京 藏達 青 喜 化 京都市錦小路油小路東 池 中 支 京高 京都市第三高等學校【電話上301】 橋 榮 兰 支 石 部 茂郎 東區安土町二丁目船場小學校 泍 大紀 部 海 阪 支支支支 和歌山縣有田郡金屋 小 槇 伊 部 兵庫縣尼崎尋常高等小學校 村 辨 次 山 押 部 南 塢 神戶市西須磨下小神 改 發 香 神 Ħ 部 岡山市門田21 水森 野 Ŧ 里 Ш 支支支支 部 畄 慶 本 美高 部 岡山縣津山町山下96 三 作 夫 朝 高松市宮脇町馬場通722 田 中 部 松 廣島市研屋町51 熊 野 德 廣 島 部 惠 藤 郎 吉敷郡吉敷小學校 Щ \Box 支支支支 部 廣內 吉夫 藤 下 關 部 下關市丸山町梅光女學院 津 福岡市南藥院250 海 福 岡 部 齊 Щ 本 本 部 縣立工業學校 熊 古 大名 支支 古 福岡縣大牟田市通町一丁目 賀 和 牟 田 部 濱 眞二 東區田代町南田面113 野 古 屋 部 娍 支支支 濱松高等工業學校 誫 籏 松 部 廉三 橫濱基督教青年會內 横東 海 老 濱 部 府下駒澤町上馬143 藤 京 五 部 郎 長野縣上田市木町 宫 島 支支支支 上長 \mathbf{H} 部 黑 岩 郎 魁 野 部 長野市 宮 周 高松 長野縣上高井郡須坂小學校 Ш 治 水本 部 長野縣松本市宮村町庚申小路 Ŀ 條 潏 人 部 三吉 衞 支支支支 長野縣上諏訪中學校 濹 勝 諏 訪 部 仙臺市第二高等學校 札幌市南一條西十一丁 井. Æ 敏 仙 臺 部 幌 札 中 Ш 誠 部 小 樟 部 小橋市北海商業學校 新 谷 英 太 郎 奉天葵町12の2 阎 滿 洲 支支支支 部 西 永 大朝 連 部 大連市 督 鮮 京城芳山町4 14 部 大 臺北商業學校 見 7 臺 灣 部 元 水 民 次 郎 上海狄思威路增余里16 口 上 海 支 部 437 N. Westmorland Ave., 2**Į**Š 髙 岡 今 北 米 支 部

昭和四年三月二十四日印刷 天 界 第九十七號 金五拾錢 郵稅金壹錢 定價 昭和四年三月二十五日發行 56765) 編輯兼發行者 京都帝國大學天文臺內(振替貯金口座大阪

Los Angeles, Cal., U. S. A.

(代表者 山本一清) 天 文 同 好會

內外出版印刷株式會社(電話下4155) ED 刷 所 京都市下京區西洞院通七條南入

印 刷 者 京都市下京區北小路通新町西入 須 磨勘 兵

〔振替東京43240〕 新 賫 捌 所 東京市神田區錦町1の19 光 (電話神田 2656)

京都帝國大學教授 理學博士

山本一清先生著

標準天文讀本

之れは吾か天文同好會員の教科書 こも言 ふべき ものであつて、殊に「天界」や「ブレテン」を讀むために之れは必要な書物である。 星闘や天體寫真を見るのにも、新聞雑誌の天文記事を讀むのにも、多少の準備的智識のあるこ 無いこは大變に興味の違ふものであるが、此の「標準天文讀本」は此等の要求に應するやうに書かれたものである。同好會員は必ず一本を備へなければならない。

キク版368頁,外に扉,序文,目次及び索引補遺正誤なご22頁

目

第一章 天 球

第一節 天球座標さ其の主要點

第二節 星座

第三節 天球上の諸種の運行

第二章 天體運動の理論

第一節 古代人の天體論---天動説

第二節 地動說

第三節 二天體の運動論

第四節 軌道要素

第五節 三天體の運動論

第六節 攝動

第七節 天體の自轉さ形狀

第八節 太陽系の構造さ進化

第三章 球面天文學

第二節 日食さ月蝕及び其の類似現象

第三節 暦法種々

第四節 歳差さ章動

第五節 アベラシオン

第六節 視差

第七節 固有運動

第八節 星の天球位置さ其の目録並びに

星圆

第九節 地球大氣に因る光線の屈折

第十節 地球の形さ大きさ

第四章 天體の物理な

次

第一節 天體物理學の方法

第二節 太陽

第三節 遊星さ衞星

第四節 彗星さ流星その他

第五節 恒星の光分類さ色

第六節 天體の視線運動

第七節 重星さ連星

第八節 變光星

第九節 星雲さ星劇

第五章 天體宇宙と其の進化

第一節 天體の總数と空間分布

第二節 天體の運動

第三節 天體の進化さ字宙の組織

第六章 天文研究の方法と器械設備

第一節 原始的の簡單な器械

第二節 望遠鏡さ其の種類

第三節 固定機---子午線機

第四節 運轉機——赤道機

第五節 部分器械及び天文時計

第六節 天文臺

定 價 3 圓

送料24錢

發賣店 京都市島丸通 みつび **と書店** (電話は西陣 2392)